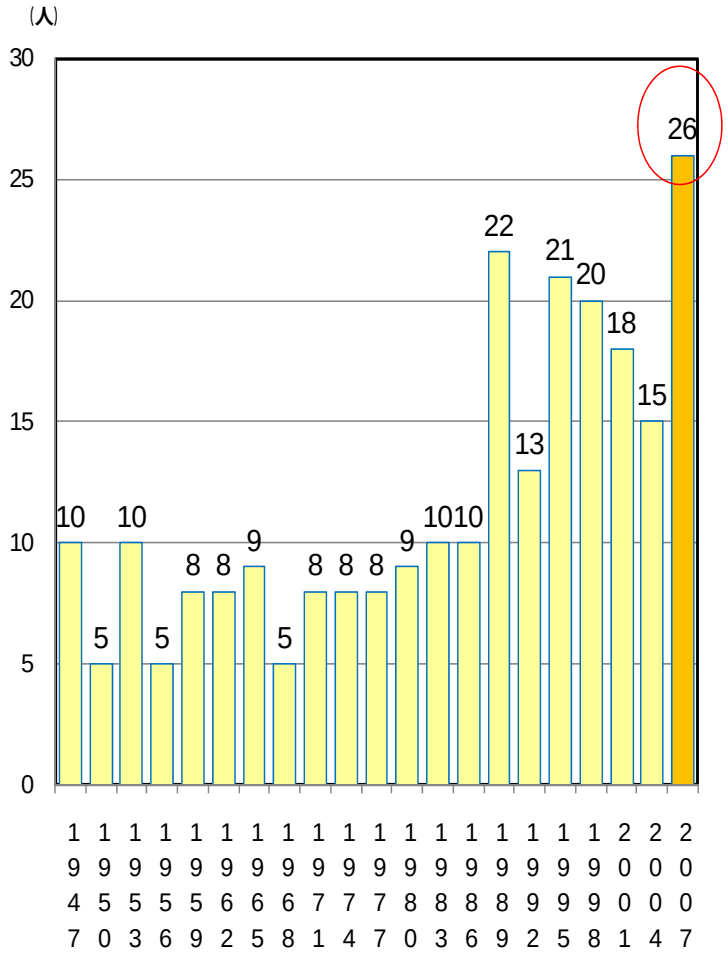
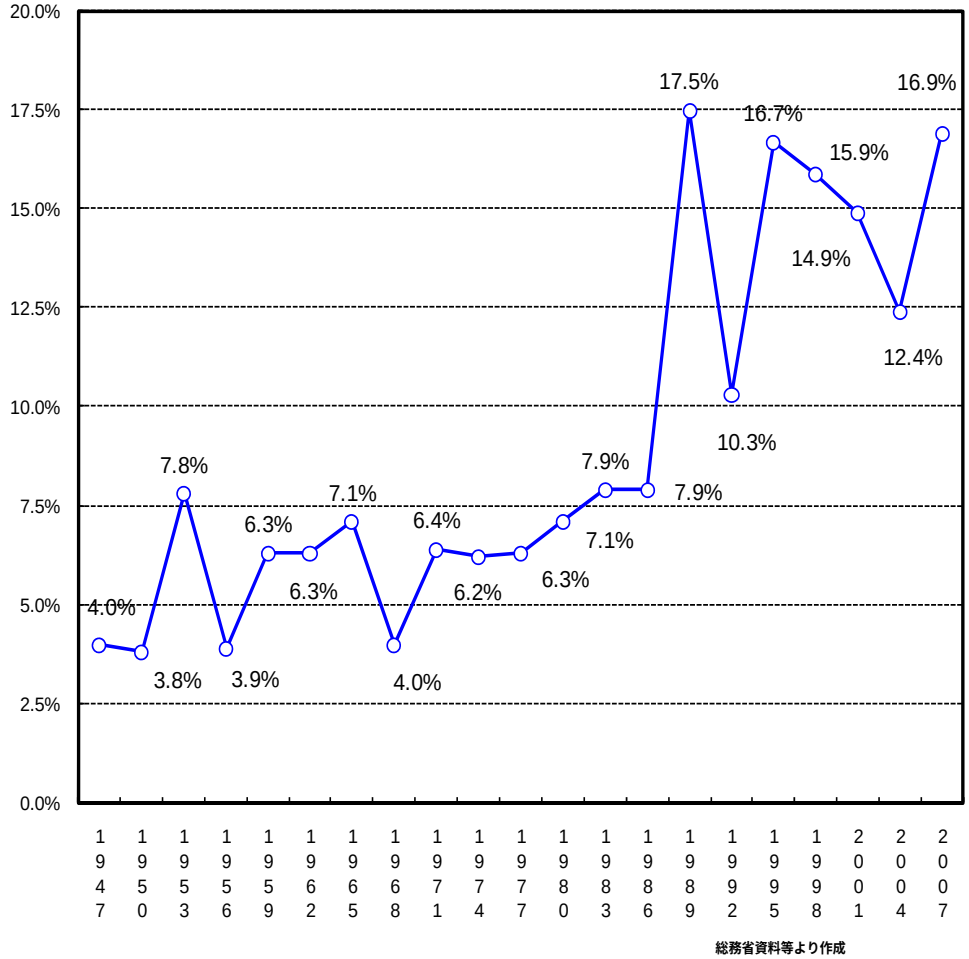
第21回参議院議員選挙で女性の政界進出が拡大

2007年7月29日に行われた第21回参議院議員選挙では、91人（全体の24.1%）の女性が立候補し、過去最多となる26人が当選した。
この結果、参議院議員に占める女性の割合は16.9%と、1989年に次ぐ高水準となった。
女性の政界進出が進んだ理由として、各党が選挙において少子化対策などの生活に密着した政策の重要性を主張したことがあげられる。

参議院選挙における女性当選者数



参議院議員に占める女性の割合



総務省資料等より作成